

## 普及活動情勢報告（平成30年3月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 定期総会で提案をしました！ ～JA高知市女性部直販部会「まっことふぁーむらぶ」～



販売額アップ作戦を説明中

2月27日、約70名の部会員が出席し定期総会が開催されました。総会後の研修会では、普及所から、高知市内の他の直販所と比較した、らぶの販売実績の伸びの評価と、販売額1億円を目指す取り組み案のひとつ「イトインコーナー」設置のための配置替え提案を行いました。その結果、不可能と思われていたが、店舗内の工夫で場所が確保できることが部会員と店舗職員に理解され、非常に興味を持っていただけました。

今後も、直販部会運営委員会で協議しながら、販売額1億円を目指して取り組んでいきます。

### 自分の中間成績を見直そう ～JA高知春野きゅうり部会～



分析結果を考察する普及員

JA高知春野きゅうり部会の就農3年目までの生産者やカウンセリング希望者に、個別の経営カウンセリングを実施しています。

30園芸年度の農家毎の中間成績を、前年の成績や目標出荷量、部会平均などと比較しました。また栽培面でも、土壌分析や生育調査結果（開花節、収穫節、茎径、葉幅）を、篤農家の数値と比較しました。それらの分析結果をもとに、「温度を低めに管理したことで収穫開始が遅れた」、「追肥を増やすタイミングが遅れたから、樹液濃度が低下している」などと考察しました。

今後、これらの結果や考察を活かして、新規就農者が個々の目標を達成でき、安定した農業経営ができるように支援していきます。

### グロリオサの大敵であるミカンキイロアザミウマの発生傾向を把握



葉上のミカンキイロアザミウマを確認中

普及所では、農業技術センター昆虫担当と連携し、毎週、3ほ場でミカンキイロアザミウマの発生や移動傾向を調査をしています。

調査開始から1年が経過し、年間の発生傾向が少しずつ把握できるようになった他、生産者にも自分のハウスの害虫発生パターンを知ってもらうことができ、効率的な害虫防除の実践に向けて前進しています。この調査は次年度も継続し、結果は勉強会や個別指導でいかしていく予定です。

今後も、生産者が継続的に取り組みやすい防除技術の普及推進に向け、研究機関と連携して現地調査を実施していきます。

### 6次産業化商品の販路拡大 ～パッケージのリニューアルを考えよう～



久々のチーム会に熱心な協議

6次産業化支援チーム会で販路拡大に取り組んでいるJA高知市女性部土佐山支部加工部が、3月8日、1年ぶりにチーム会を開催しました。昨年漬け込んだ梅がやっと製品になったので具体的な販路拡大についてアドバイザーと協議し、現在のパッケージの不具合などところを改善するためにリニューアルが必要なことが話し合われました。普及所では、今後も引き続き6次産業化商品の販路拡大の取り組みを支援していきます。

### 今年のユリの炭酸ガス施用効果はいかに?! ～ユリ環境制御技術実証ほ～



切り花の品質を調査

3月9日に、高知市長浜で実証試験中の、環境制御技術実証ほの切り花調査を開始しました。長浜での実証は今年2年目で、密植栽培で炭酸ガス施用した場合の切り花品質への影響が、今年度の調査ポイントとなっています。

農家からは、炭酸ガス施用により、特に頂点の蕾の肥大が良好である、との評価をもらいました。

まだ調査は始まったばかりのため、今後は結果をもとに経営評価を行い、所得向上に結びつく技術の普及推進に向け、活動を続けていきます。